

最近の管内経済概況

(2024年5月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

○生産活動は、一進一退の動きとなっている。

○個人消費は、緩やかに改善している。

○観光は、改善している。

○公共工事は、増加した。

○住宅建設は、弱い動きとなっている。

○民間設備投資は、増加している。

○雇用動向は、弱含んでいる。

○企業倒産は、件数、負債総額とも増加した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

2024年7月19日

照会先：経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L：011-709-2311 内線 2525

E-mail：bzl-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

管内経済概況判断の推移

(2024年7月現在)

発表月	2024年2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月との判断比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	<u>一進一退の動きとなっている</u> (↗)	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	
個人消費	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	
観光	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
公共工事	増加した	増加した	増加した	<u>減少した</u> (↘)	<u>増加した</u> (↗)	増加した	
住宅建設	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	
企業倒産	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数は同数、負債総額は減少した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

 上方修正  据え置き  下方修正

生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている ～

5月の鉱工業生産は、前月比+5.4%と2か月ぶりに上昇した。前年同月比は+4.5%と3か月連続で上昇した。上昇業種は、輸送機械工業など10業種となった。低下業種は、金属製品工業など3業種となった。

< 5月 >

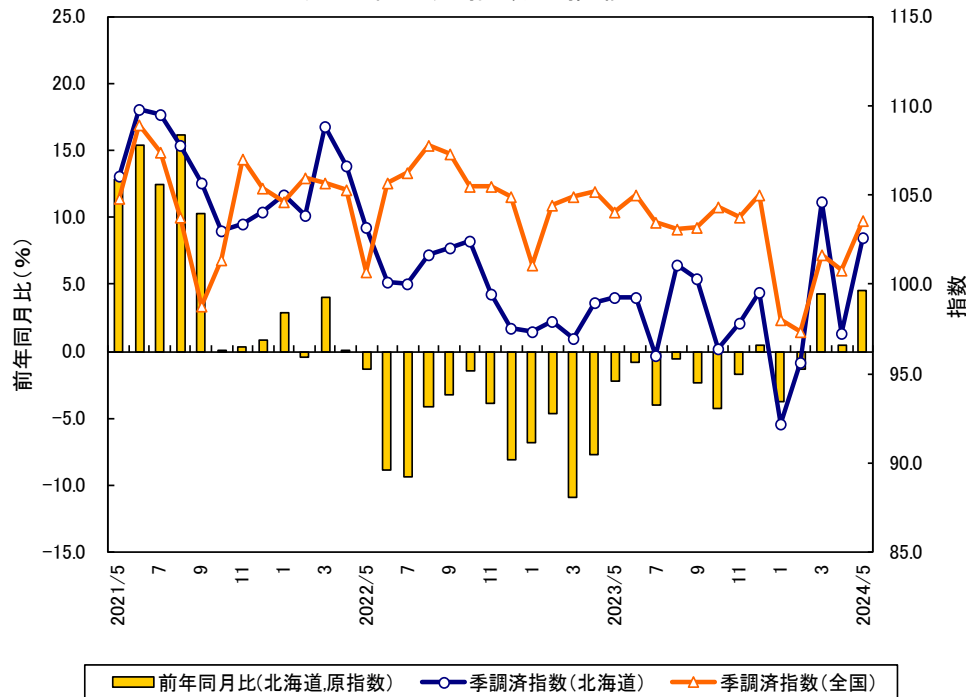
季節調整済指数

北海道（速報） 102.6（前月比+ 5.4%）

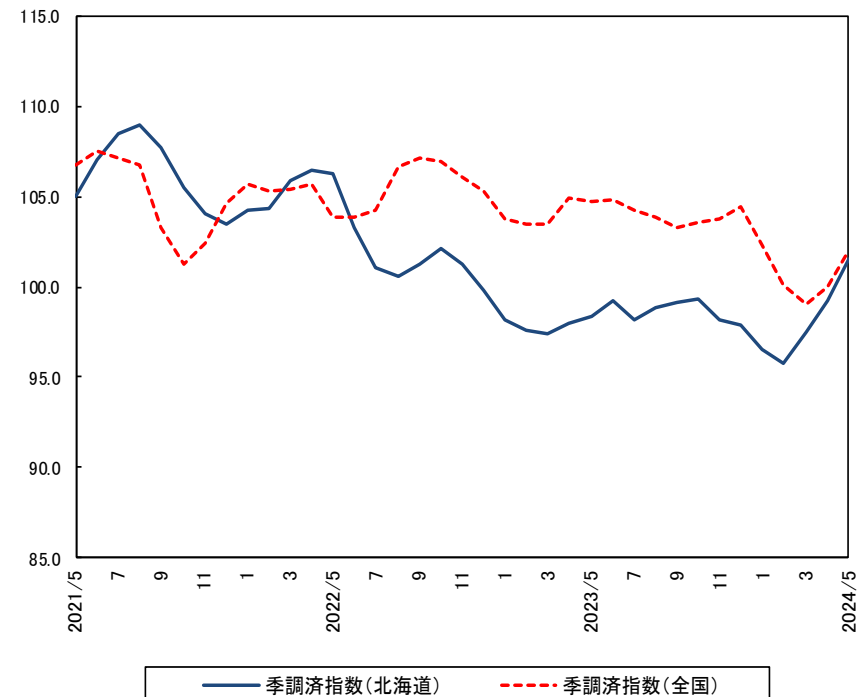
全 国（速報） 103.6（前月比+ 2.8%）

	業 種	前月比 (%)	前年同 月比(%)	主な品目
上昇 10業種	輸送機械工業	+ 20.0	+ 3.6	自動車部品
	化学・石油石炭製品工業	+ 14.3	+ 18.2	化学・石油石炭製品
	電気機械工業	+ 10.2	+ 10.5	配電盤
低下 3業種	金属製品工業	▲ 2.9	+ 17.0	建設用金属製品

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



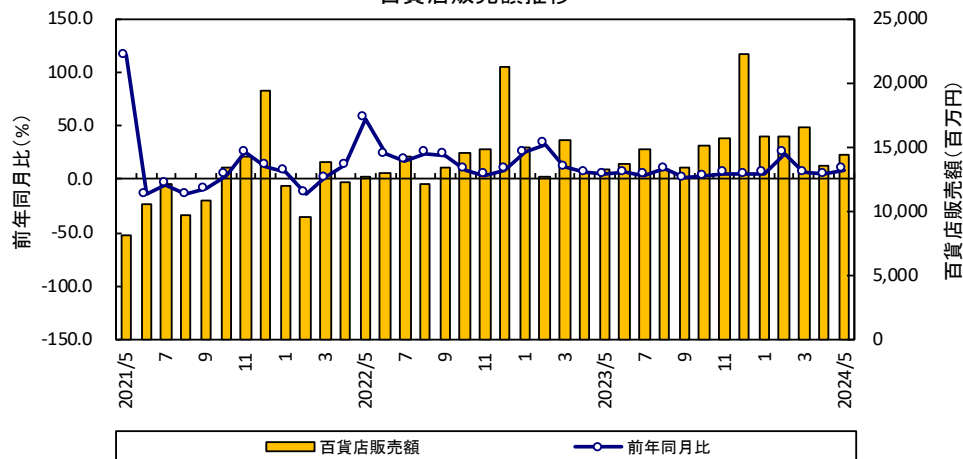
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 緩やかに改善している ～

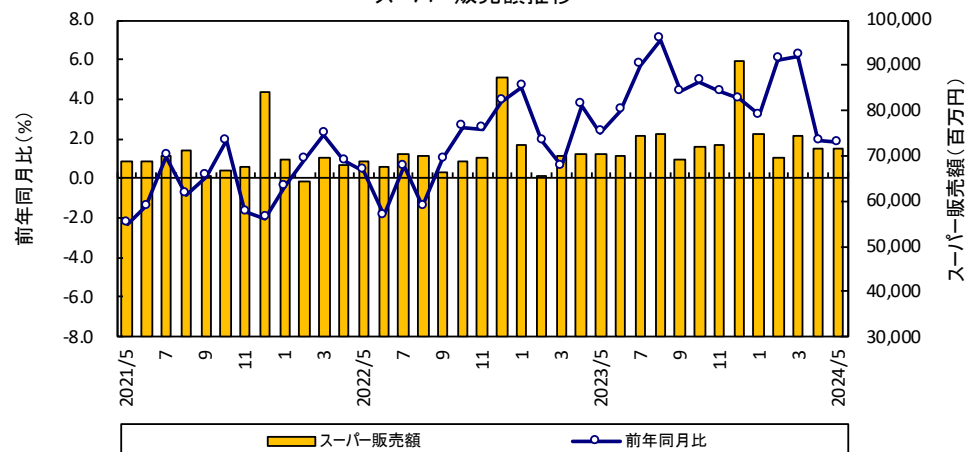
5月の個人消費は、ホームセンターと新車販売が前年を下回ったものの、他の5業態は前年を上回った。

- ・百貨店は、衣料品などの売上げが好調で、前年同月比+8.8%と27か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、飲食料品の売上げが増加し、同+1.8%と21か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+0.8%と31か月連続で前年を上回った。

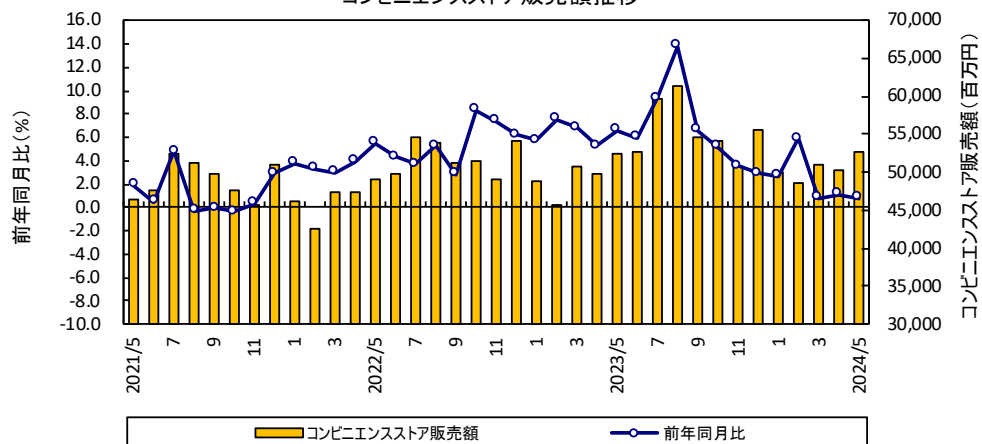
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移

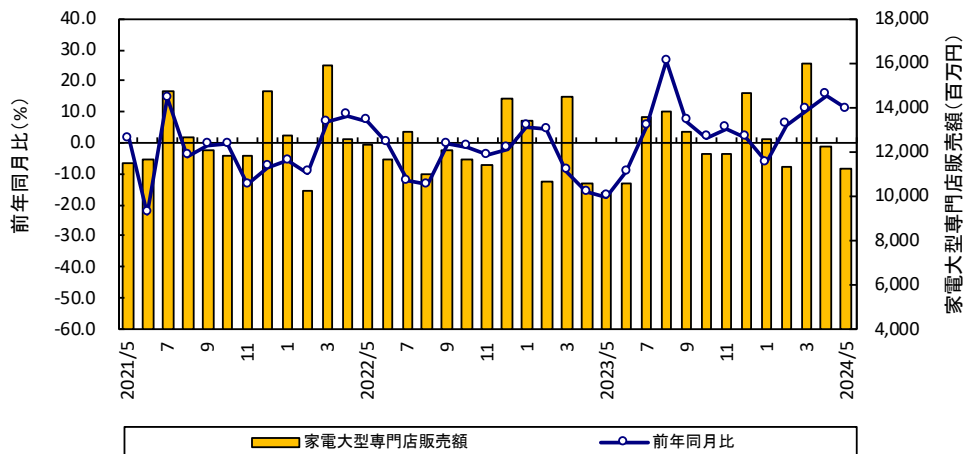


【ヒアリング内容】

- ・ブラウスなどの夏物衣料のほか、日焼け止めや日傘などUV対策商品がよく売れた。また、宝飾や時計など高級ブランドの商品や手土産需要による菓子類の売上げが引き続き好調だった。(百貨店)
- ・客単価の上昇により売上げは前年を上回った。大型連休の日数減少の影響を受けたほか、価格が高騰し売上げが前年を下回る商品があったものの、惣菜や値ごろ感のある商品の売上げは好調だった。(スーパー)
- ・大型連休の売上げは比較的好調だったものの、飲料が伸び悩んだほか、節約志向などから酒類の売上げが前年を下回った。(コンビニエンスストア)

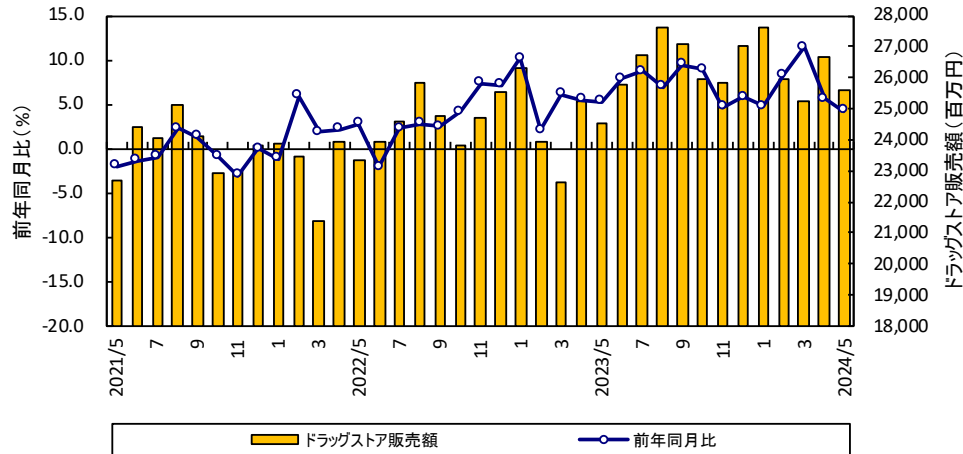
- ・家電大型専門店は、同+10.8%と4か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+4.3%と23か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲3.3%と2か月ぶりに前年を下回った。
- ・新車販売は、同▲5.0%と5か月連続で前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



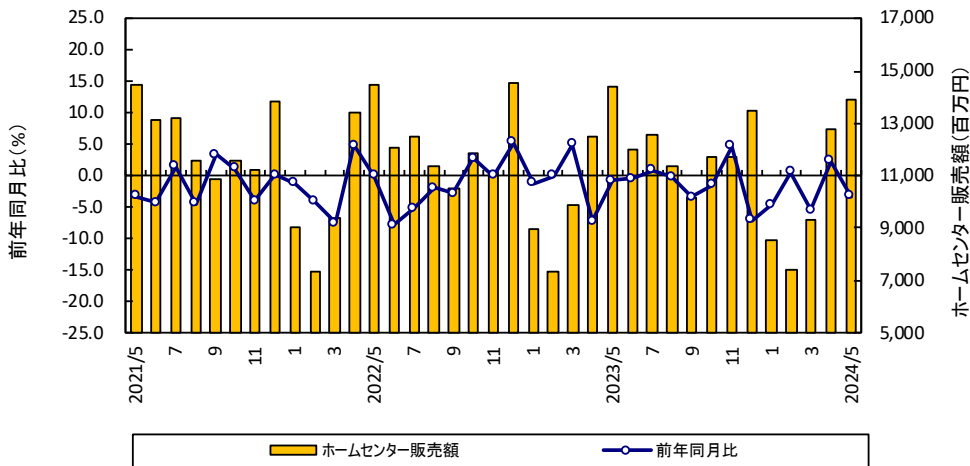
（資料：北海道経済産業局）

ドラッグストア販売額推移



（資料：北海道経済産業局）

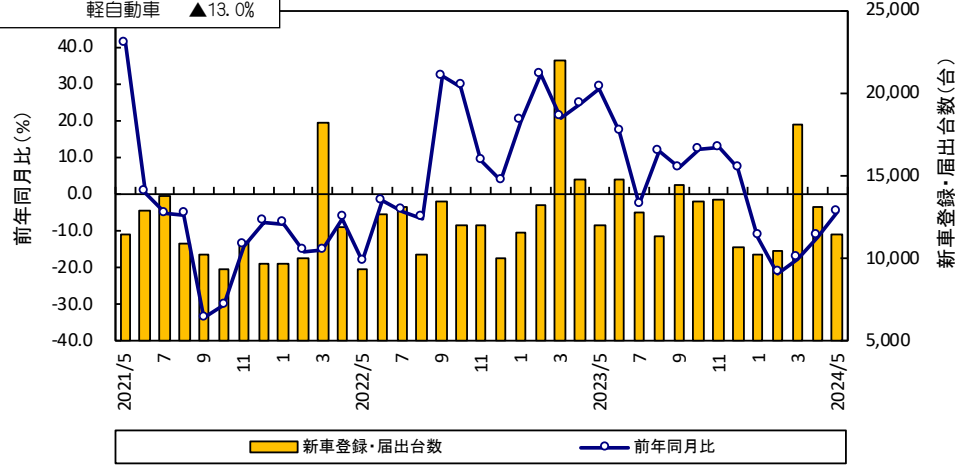
ホームセンター販売額推移



（資料：北海道経済産業局）

新車登録・届出台数推移

<5月> 普通乗用車 + 4.8%
小型乗用車 ▲ 9.3%
軽自動車 ▲ 13.0%



（資料：（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会）

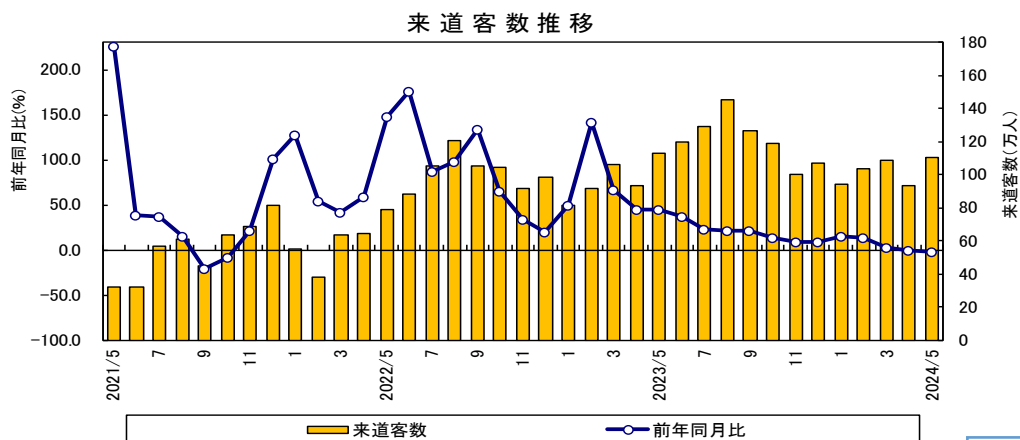
【ヒアリング内容】

- ・前月までに引き続きエアコンとスマートフォンが売上げをけん引した。また、スポットクーラーや冷風機などの売上げも好調だった。（家電大型専門店）
- ・日焼け止めや制汗剤など季節性商品が売れ始め、売上げが伸長した。化粧品では比較的低価格帯の商品が伸長した。（ドラッグストア）
- ・値上げの影響から消耗雑貨などの売上げは前年を下回った。また、節約志向からプライベートブランド商品の購入比率は増加傾向が続いている。（ホームセンター）

観光 ～ 改善している ～

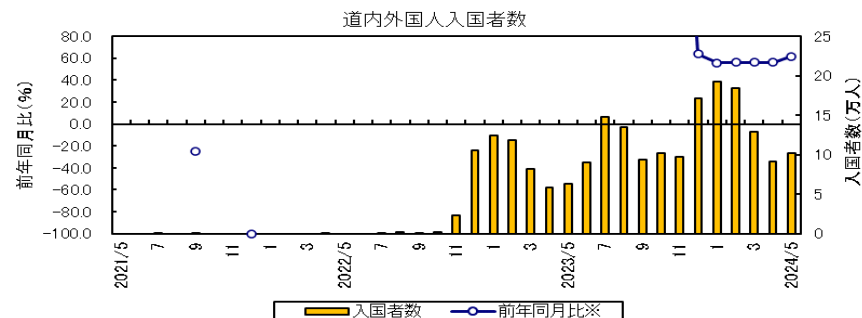
5月の来道客数は、前年同月比▲2.5%と2か月連続で前年を下回った。また、道内外国人入国者数は、同+61.7%と23か月連続で前年を上回った。

< 5月 > 入国者数 101,839人(+61.7%)



< 5月 > 来道客数 1,105,837人(▲2.5%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)



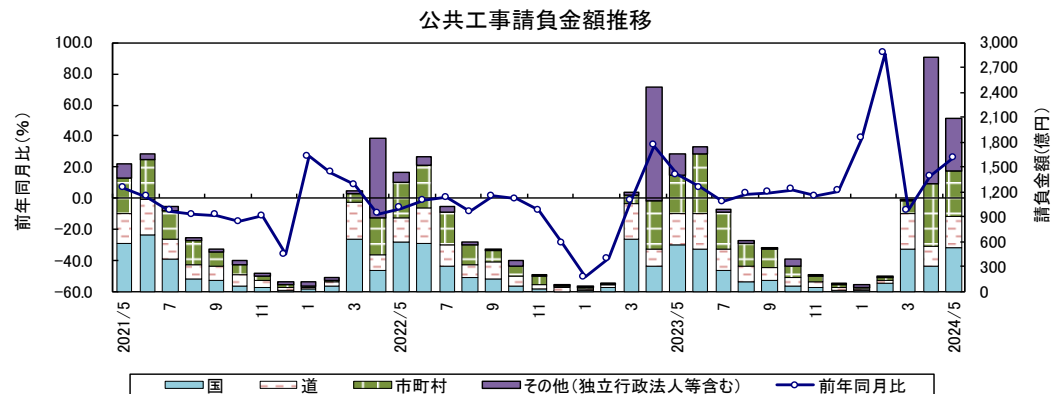
※2022/7及び9、2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していない。

(資料：法務省)

- GW期間中は観光客の入込が多くなり、前年同月比+100%以上となったが、GW以降は観光客数は前年ほどのびなかった。(観光協会)

公共工事 ～ 増加した ～

5月の公共工事請負金額は、国、道は前年を下回ったが、市町村は前年を上回り、前年同月比+25.8%と2か月連続で前年を上回った。



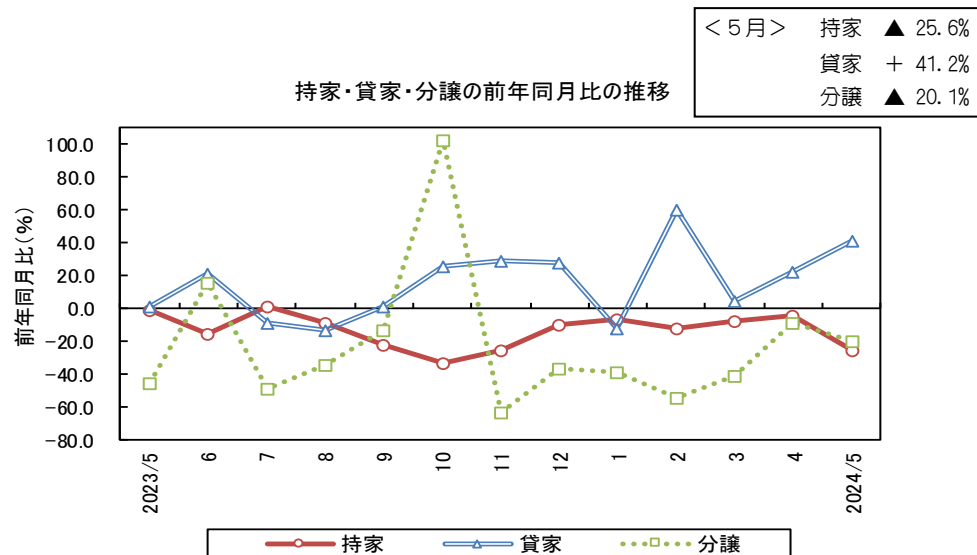
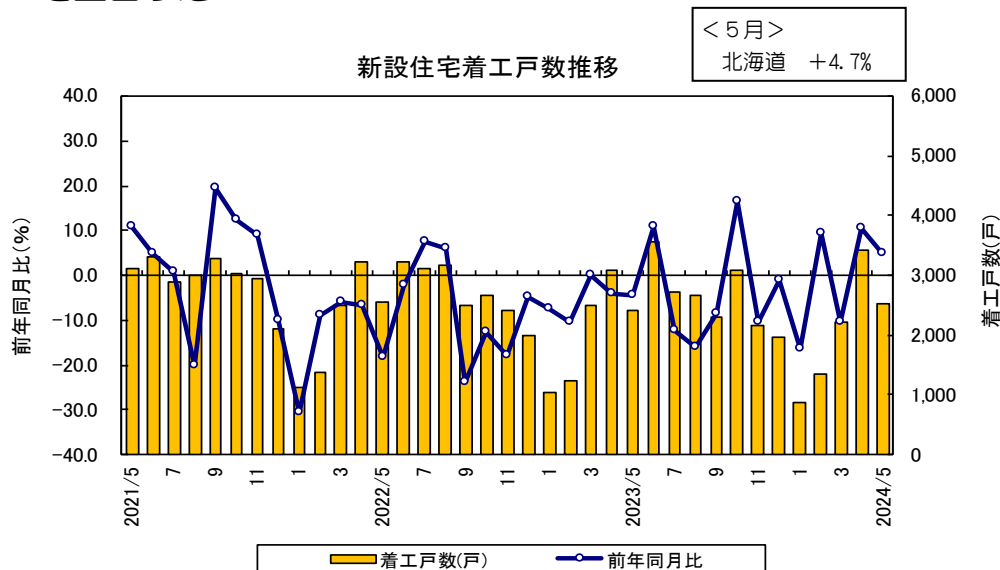
< 5月 >
 北海道 +25.8%
 (内 訳)
 国 ▲3.9% 道 ▲3.7% 市町村 +15.3% その他 +159.1%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 弱い動きとなっている ～

5月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲は前年を下回ったが、貸家は前年を上回り、前年同月比+4.7%と2か月連続で前年を上回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2024年度の設備投資計画は、全体で前年度比+23.1%と3年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2024年7月1日発表

	2023年度	2024年度
北海道	+ 3.0%	+ 23.1%
製造業	+ 24.6%	+ 35.5%
非製造業	▲ 4.7%	+ 17.4%
全国	+ 10.6%	+ 8.4%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2024年6月13日発表

	2023年度	2024年度
全産業	▲ 13.8%	+ 36.0%
製造業	+ 27.9%	+ 28.7%
非製造業	▲ 23.5%	+ 39.0%

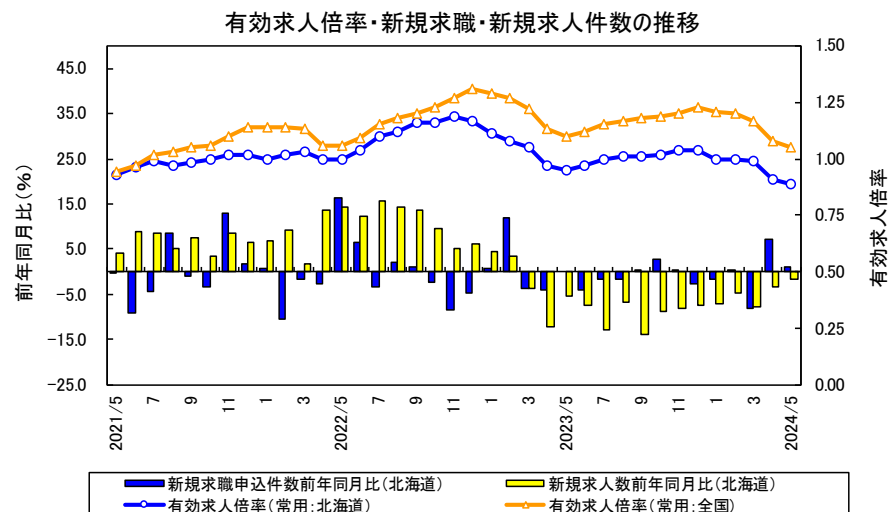
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

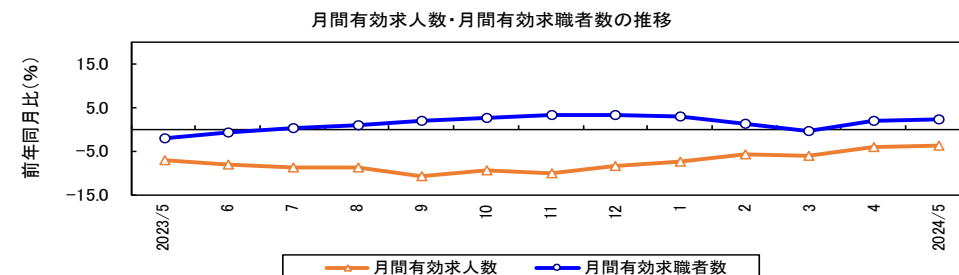
雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

5月の有効求人倍率は、0.89倍と前年同月差0.06ポイント低下し、14か月連続で前年を下回った。



< 5月 >			
北海道	有効求人倍率(常用)	0.89倍	
	新規求職人数(前年同月比)	▲1.7%	
	新規求職申込件数(前年同月比)	+1.2%	
	有効求人倍率(常用)	1.05倍	
全国	有効求人倍率(常用)	0.89倍	
	新規求職人数(前年同月比)	▲1.7%	
	新規求職申込件数(前年同月比)	+1.2%	
	有効求人倍率(常用)	1.05倍	

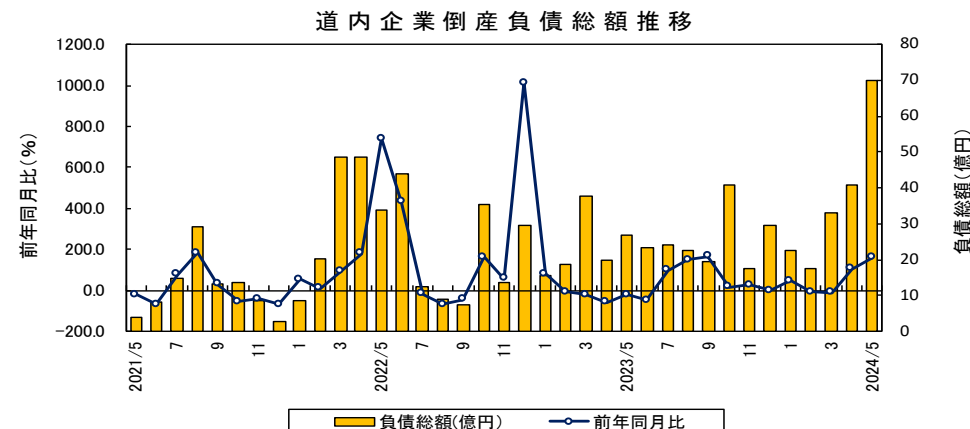
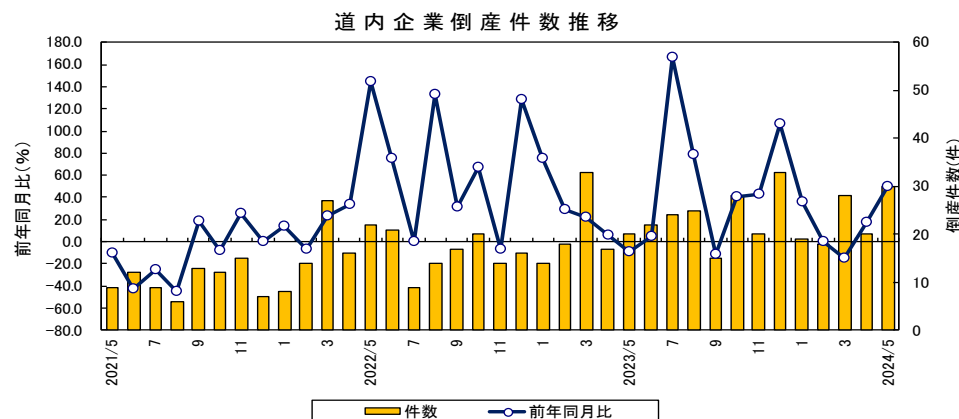
< 5月 >	
月間有効求職人数(前年同月比)	▲3.7%
月間有効求職者数(前年同月比)	+2.5%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加した ～

5月の倒産件数は30件で、前年同月比+50.0% (10件増) と2か月連続で前年を上回った。また、負債総額は69.9億円で、同+158.8%と2か月連続で前年を上回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)